

事業報告書

学校法人日本コンピュータ学園

東北電子専門学校

目 次

I. 法人の概要

- (1) 学校法人の沿革
- (2) 学園組織図
- (3) 設置する学校の定員・在籍者状況
- (4) 役員・教職員の概要
- (5) 教育用施設の概要

II. 事業の概要

【法 人】（平成 30 年度）

- (1) 設置する学校
- (2) 事業に関する事項
- (3) 財務の概要
- (4) 会議に関する事項

【東北電子専門学校】（令和元年度）

- (1) 学校の概要
- (2) 沿革
- (3) 教育理念
- (4) 学校の特色
- (5) 事業計画
- (6) 学科の教育
 - 入学者受け入れ方針
 - カリキュラムの編成からシラバス公開までの流れ
 - 履修認定の方針
 - 成績評価及び成績分布状況の把握
 - 進級・卒業の認定
 - 学科構成
- (7) 実践的職業教育と就職指導
 - 各種認定・連携教育
 - 就職指導
 - 就職支援プログラム
- (8) 教職員
- (9) 教育環境
 - 校舎概要
 - 主な施設・設備の特色
 - 主な実習設備
 - その他の施設・設備

(1 0) 学生の生活支援

学生支援体制

学生寮

(1 1) 国際連携の状況

留学生対象学科：国際ビジネス科

取得を目指す検定試験

(1 2) 教育活動

学校行事

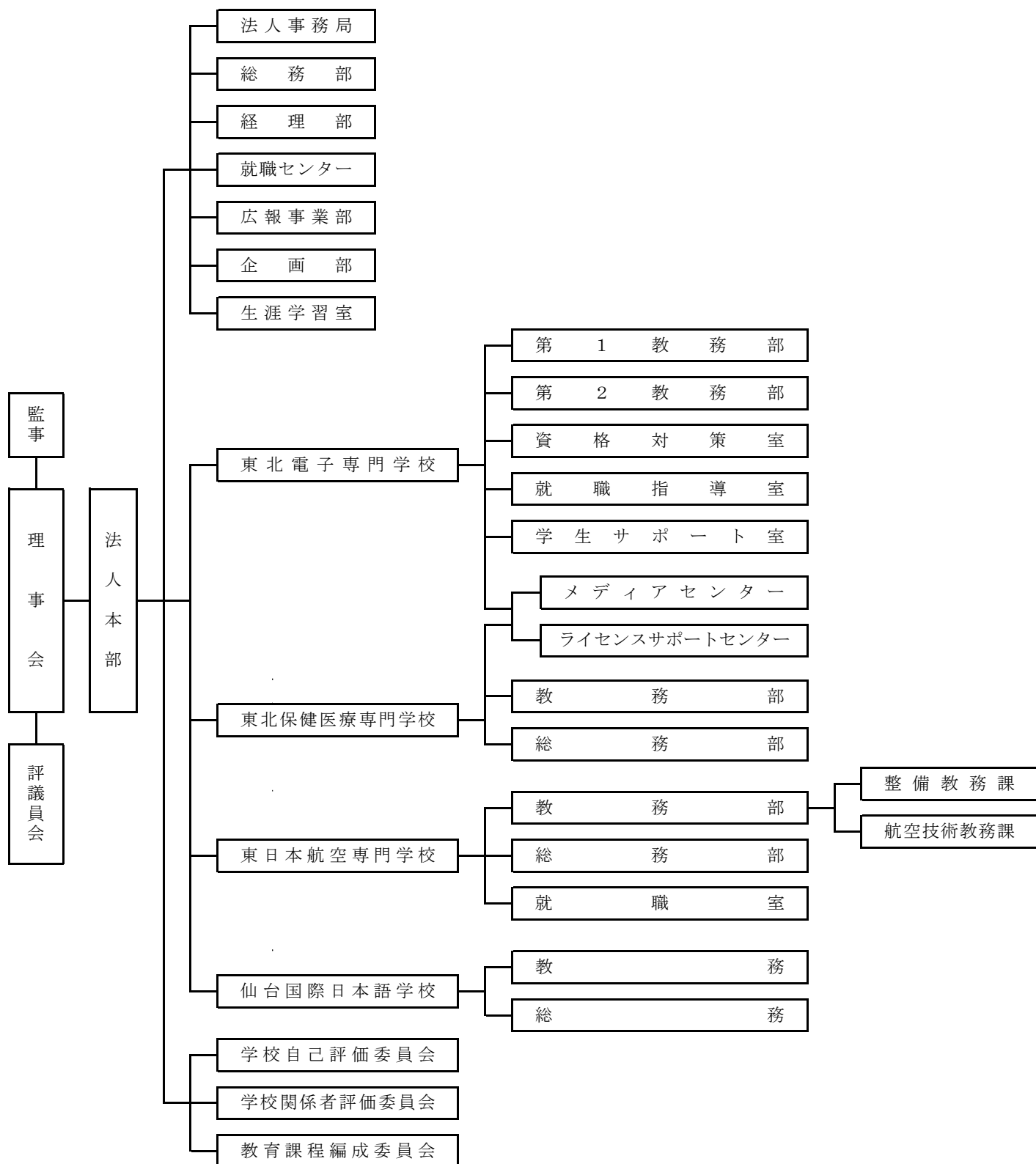
クラブ活動

I. 法人の概要

(1) 学校法人日本コンピュータ学園の沿革

昭和 43 年	東北電子計算機専門学校 創立
昭和 44 年	東北電子計算機専門学校 各種学校認可
昭和 51 年	東北電子計算機専門学校 専修学校認可
昭和 61 年	学校法人日本コンピュータ学園 設立認可
昭和 62 年	東北電子計算機高等専修学校 開校
昭和 63 年	東日本航空専門学校 開校
平成 元年	東北電子計算機専門学校 仙台市青葉区花京院に新校舎竣工
平成 2 年	東北電子計算機専門学校 学校法人日本コンピュータ学園専修学校認可
平成 7 年	2 年課程以上に「専門士」の称号付与
平成 13 年	東北電子専門学校(旧東北電子計算機専門学校)に校名変更 東北電子計算機高等専修学校 閉校
平成 23 年	4 年課程に「高度専門士」の称号付与 東北保健医療専門学校 開校
平成 29 年	仙台国際日本語学校 各種学校認可

(2) 学校法人日本コンピュータ学園 組織図 (令和元年5月1日現在)



(3) 設置する学校の定員・在籍者状況

・平成30年度

(平成30年5月1日現在)

(専門学校)

学 校 名	総定員	在 籍 者				
		1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	合 計
東北電子専門学校	2,010	637	558	89	9	1,293
東日本航空専門学校	418	70	68	14		152
東北保健医療専門学校	660	146	111	59		316
合 計	3,088	853	737	162	9	1,761

(各種学校)

学 校 名	総定員	在 籍 者		
		1 年 生	2 年 生	合 計
仙台国際日本語学校	300	33	107	140

・令和元年度

(令和元年5月1日現在)

(専門学校)

学 校 名	総定員	在 籍 者				
		1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	合 計
東北電子専門学校	1,930	806	552	95	6	1,459
東日本航空専門学校	418	80	68	22		170
東北保健医療専門学校	660	173	109	61		343
合 計	3,008	1,059	729	178	6	1,972

(各種学校)

学 校 名	総定員	在 籍 者		
		1 年 生	2 年 生	合 計
仙台国際日本語学校	300	52	98	150

(4) 役員・教職員の概要（令和元年5月1日現在）

・役員 理事7名 監事2名

No.	役職名	常勤・非常勤の別	内部・外部の別	氏 名	選任区分	任 期
1	理事長	常 勤	内 部	持丸 寛一郎	第1号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
2	理 事	常 勤	内 部	吉田 博志	第1号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
3	理 事	非常勤	外 部	菊田 正信	第2号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
4	理 事	常 勤	内 部	今別府 和美	第2号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
5	理 事	非常勤	外 部	持丸 洋子	第2号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
6	理 事	非常勤	外 部	今村 茂雄	第3号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
7	理 事	非常勤	外 部	郷内 淳子	第3号	平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
1	監 事	非常勤	外 部	角田 透		平成29年9月28日 ～令和元年9月27日
2	監 事	非常勤	外 部	石沢 裕一		平成29年9月28日 ～令和元年9月27日

・教職員

学 校 名	教 員		職 員		合 計
	本 務	兼 務	本 務	兼 務	
東 北 電 子 専 門 学 校	44	66	46	9	165
東 日 本 航 空 専 門 学 校	18	12	3	0	33
東 北 保 健 医 療 専 門 学 校	23	78	3	0	104
仙 台 国 際 日 本 語 学 校	5	11	2	0	18
合 計	90	167	54	9	320

(5) 教育用施設の概要（令和元年5月1日現在）

・校地及び校舎

学 校 名	所 在 地	土 地	建 物
東北電子専門学校	仙台市青葉区花京院 1丁目3番1号	5,019.98 m ²	20,235.35 m ²
東北保健医療専門学校			4,737.80 m ²
仙台国際日本語学校			973.20 m ²
東日本航空専門学校	岩沼市下野郷字菱沼	33,352.83 m ²	6,222.16 m ²
東北電子専門学校 実習棟	56番1他		449.40 m ²

・寄宿舍

名 称	所 在 地	土 地	建 物
清水沼寮	仙台市宮城野区清水 沼三丁目35番1	2,707.13 m ²	1,982.70 m ²
ドミトリー仙台一番町寮	仙台市青葉区一番町 一丁目35番2	636.95 m ²	3,791.70 m ²
北山寮	仙台市青葉区北山1 丁目162番5	1,641.92 m ²	1,767.48 m ²
清水沼留学生寮	仙台市宮城野区清水 沼三丁目35番2	1,275.32 m ²	943.59 m ²

Ⅱ．事業の概要

【法 人】（平成 30 年度）

法人名 学校法人日本コンピュータ学園
法人認可 昭和 61 年 10 月 20 日
所在地 仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
代表者 理事長 持丸寛一郎
役 員 理事 7 名
監事 2 名
評議員 15 名（欠員 1 名）

（1）設置する学校（平成 30 年 5 月 1 日現在）

専修学校 3 校 各種学校 1 校

① 東北電子専門学校

所在地 仙台市青葉区花京院一丁目 3 番 1 号
学生定員 入学定員 910 名 総定員 2,010 名 在校生 1,293 名
学科数 23 学科(情報システム科他)
教職員数 本務 88 名 非常勤 76 名
教育内容 情報処理をはじめとするさまざまな専門分野の教育を行い必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする

② 東日本航空専門学校

所在地 岩沼市下野郷字菱沼 84 番地
学生定員 入学定員 176 名 総定員 418 名 在校生 152 名
学科数 3 学科(航空機整備科他)
教職員数 本務 21 名 非常勤 12 名
教育内容 航空整備士をはじめとして航空業界に必要な専門知識、技能、資格の修得を目指す

③ 東北保健医療専門学校

所在地 仙台市青葉区花京院一丁目 3 番 1 号
学生定員 入学定員 260 名 総定員 660 名 在校生 316 名
学科数 6 学科(作業療法科他)
教職員数 本務 27 名 非常勤 64 名
教育内容 作業療法士、理学療法士、介護福祉士等医療・福祉の現場を支える実践力ある人材を育成するのに必要な専門知識、技能、資格の修得を目指す

④ 仙台国際日本語学校

所在地 仙台市青葉区花京院一丁目 3 番 1 号

学生定員	入学定員 160 名	総定員 300 名	在校生 140 名
学科数	5 学科		
教職員数	本務 7 名	非常勤	10 名
教育内容	外国人留学生に対し日本語教育を施し、専門学校及び大学への進学を目指す		

(2) 事業に関する事項

・東北電子専門学校

職業実践専門課程の認定を受けている 23 学科・コースのうち、平成 27 年度より認定を受けている 18 学科を対象としてフォローアップ※が行われ、無事再認定された。

※フォローアップ：認定より 3 年が経過した学科が認定後も引き続き認定要件を満たしているかの確認

・東日本航空専門学校

航空機整備科二等航空運航整備士コースが、基本技術Ⅱとして国土交通省より養成施設の指定を受けた。

・東北保健医療専門学校

宮城県から平成 30 年度離職者等再就職訓練事業（長期高度人材コース）「介護福祉士養成科（R コース）」及び「平成 31 年度介護従事者確保対策事業運営業務」を業務委託された。

(3) 財務の概要

資産の部 固定資産は有形固定資産の減価償却による減少及び流動資産の現金預金の減少により 1 億 2,985 万円減の 106 億 2,659 万円となった。

負債の部 固定負債は長期未払金である割賦金支払による減少及び流動負債の短期借入金の返済が進み減少したことにより、2 億 4,686 万円減の 13 億 1,634 万円となった。

今年度の純資産は、前年比 1 億 1,700 万円増の 93 億 1,025 万円となり、財務内容も順調に推移している。

(4) 会議に関する事項

・理事会及び評議員会

第 1 回 平成 30 年 4 月 27 日(金)

第 2 回 平成 30 年 5 月 30 日(水)

第 3 回 平成 31 年 3 月 7 日(木)

第 4 回 平成 31 年 3 月 29 日(金)

【東北電子専門学校】（令和元年度）

（１）学校の概要（令和元年５月１日現在）

創立	昭和 43 年
設置者名	学校法人日本コンピュータ学園
学校名	東北電子専門学校
所在地	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目 3 番 1 号
電話番号	022-224-6501（代表）
理事長	持丸 寛一郎
校長	吉田 博志
教職員数	165 人 教員 本務 44 人 兼務 66 人 職員 本務 46 人 兼務 9 人
学生数	1,459 人 1 年生 806 人 2 年生 552 人 3 年生 95 人 4 年生 6 人

（２）沿革

昭和 43 年	東北電子計算機専門学校 創立
昭和 44 年	東北電子計算機専門学校 各種学校認可
昭和 51 年	東北電子計算機専門学校 専修学校認可
平成 元年	仙台市青葉区花京院に新校舎竣工
平成 2 年	東北電子計算機専門学校 学校法人日本コンピュータ学園専修学校認可
平成 4 年	郵政省「工事担任者」試験 科目免除認定
平成 6 年	通産省「情報化人材教育学科」II 類認定
平成 7 年	2 年課程以上に「専門士」の称号付与 大学併学制度導入（北海道情報大学通信教育部併学の学科を設置） 日本初の「認定 CG 教育校」
平成 8 年	通産省「情報化人材育成学科」I 類認定
平成 9 年	建設大臣指定「二級建築士」受験資格認定校（実務経験免除）
平成 10 年	労働大臣指定「舞台機構調整技能士」受験資格指定 郵政省「第一級陸上特殊無線技士」認定
平成 11 年	デジタルハリウッド提携校 シスコ・ネットワーキング・アカデミープログラム実施校
平成 12 年	マイクロソフト・キャンパスアグリーメント導入 マイクロソフト AATP プログラム実施校 日本医療教育財団「医療事務技能審査 1 級」受験資格認定（実務経験免除）
平成 13 年	東北電子専門学校(旧東北電子計算機専門学校)に校名変更 オラクル・データベースアカデミー提携校 サン・マイクロシステムズ JavaTM 教育実施校

	マクロメディア技術認定資格制度 認定校
平成 14 年	Linux アカデミープログラム based on RedHat 実施校 日本医療教育財団「医療秘書技能認定 2 級」受験資格認定（実務経験免除）
平成 15 年	ナムコゲームソフト教育提携校 マイクロソフト IT Academy プログラム実施校 オラクル・アカデミックイニシアティブ提携校
平成 16 年	日本 IBM スカラーズ・ソフトウェア研修プログラム実施校 サン・アカデミック・イニシアチブプログラム認定校
平成 17 年	基本情報技術者試験午前免除修了試験講座認定 「みやぎ IT 人材すくすく特区」（構造改革特区）認定 シマンテックセキュリティアカデミープログラム参加校 SEA/J アカデミープログラム校 LPI-Japan アカデミック認定校 国土交通大臣認定「一級建築士」受験資格認定校（実務経験 4 年）
平成 18 年	インフォテリア XML アカデミー実施校 バンダイナムコゲームス教育提携校 経済産業省「第二種電気工事士」養成施設指定校
平成 19 年	日本ベリサイン認定アカデミックプログラム実施校 オラクル・アカデミー参加校
平成 22 年	マイクロソフト次世代 IT リーダー養成ワーキンググループ参加校
平成 23 年	4 年課程に「高度専門士」の称号付
平成 24 年	Smart Device Consortium 参加校 Unity 教育実施校
平成 26 年	文部科学省告示により「職業実践専門課程」認定
平成 27 年	日本 PV プランナー協会エネルギーマネジメントアドバイザーアカデミック 認定校 一般社団法人太陽光発電協会 PV マスター施工技術者認証研修機関
平成 30 年	一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会会員校

（３）教育理念

１．実学の重視

高度で実践的な知識と技術を身に付けた即戦力スペシャリストを育成する。

２．人間性の涵養

豊かな人間性および職業人としてのモラル、人間力を育成する。

３．社会への貢献

国際的な視野と高い専門性をもとに職業を通して社会の発展に寄与する意識と実践力を育成する。

(4) 学校の特徴

本校は特に経済産業省の情報処理技術者試験に代表される各種資格試験で極めて多数の合格実績を挙げるなど、東北における情報教育の先駆者として常に輝かしい実績を残すと共に、優れた教育ノウハウを蓄積してきました。

また、国土交通大臣指定「一級建築士」指定科目履修学科設置、厚生労働大臣指定「舞台機構調整技能士」受験資格指定校等、各省庁からの認定を受けており、名実ともに東北地区を代表する工業系専門学校としての評価を得ております。

さらに、変化の激しい産業界に対応した、より実践的教育をめざし、クリエイティブ分野では「CG-ARTS 協会認定 CG 校」、「unity 教育実施校」、「UnrealEngine アカデミックパートナー校」、IT・AI 及びビジネス分野では「マイクロソフト Imagine Academy プログラム実施校」、「シスコ・ネットワーキングアカデミー・プログラム実施校」、「オラクル・アカデミー参加校」を始めとして、すべての学科において関連企業、団体と産学連携を推進し、即戦力技術者の育成に努めております。

本校ではこのような専門教育のみならず、普段の生活・マナー指導及びカウンセリングから資格取得、就職にいたるまで社会人となるために必要な指導を徹底しており、厳選採用が続く状況のなかでも常に優れた就職実績をあげ、広く社会のニーズに応える人材を送り出しています。

一方、高等学校・大学への講師派遣による情報教育の支援や、公共機関からの委託による小、中、高校教員への IT 教育、あるいは再就職支援のための研修の実施等、地域社会情報化の一助として積極的に取り組んでおります。

(5) 事業計画

1. 事業への取り組み

現在、学園を取り巻く環境は、少子化の継続や一方では就職状況の好転等により、学生募集において厳しい状況が続いております。

このような状況下において、新たな学科の開設や AI、RPA などの新カリキュラム実施、さらに企業等と連携した実習・演習をより積極的に実施し、学生の満足度を高めていきたいと考えております。

学習環境面については、学生全員に配付している iPad を活用して、電子書籍を使用した授業や資料配付など、学習効率の向上のため iPad の活用をより積極的に進めています。

教育面については、昨年度ライセンスサポートセンターが開設され、メディアセンターと合わせて学生の自習環境が整備されたことから、両センターの積極的な活用を促し、学力向上、資格・検定合格者数向上につながるよう指導してまいります。

学校としては、これら施策を着実に実行し、学生の満足度の向上に力を入れるとともに学生にとって魅力ある学校づくりを目指すことで、安定した学生数の確保に努めてまいります。

2. 教育の重点分野

本校の教育方針である「資格取得」、「実務教育」、「ヒューマンスキル教育」及び「就職支援」について、なお一層強力に推し進めてまいります。

資格については、資格対策室を中心に各学科との連携のもとに対策授業の充実を図り、合格実績のさらなる向上を目指します。特に、情報処理技術者試験においては基本情報処理試験の仙台地区占有率のさらなる向上を目指します。

実務教育面においては、職業実践専門課程における企業連携実習の拡充や各種コンテスト出品を通して、学生と社会との接点を提供し、実践的な教育に注力します。

ヒューマンスキル教育においては、挨拶を始めとするマナー教育及びコミュニケーション能力の向上のための教育に加え、アクティブラーニングによる授業を取り入れ、自らが主体的に学ぶ気持ちを育成し、認知的、倫理的、社会的能力を持った社会人の輩出に努めます。

就職に関しては、5年連続で就職率が98%を超え、企業の採用意欲が高い傾向が続いていますが、就職支援プログラムの充実及び学生目線に立ったキャリア指導を行い、就職率の維持に加え就職満足度の向上を目指します。

(6) 学科の教育

<入学受け入れ方針>

- ① 就きたい仕事、取得したい資格など、将来の目的が明確である人
- ② 志願学科の専門的知識や技能習得に対し、意欲と熱意をもって望むことができる人
- ③ 好奇心や想像力を持ち、自らが気づき、改善し、成長しようと努力することができる人

<カリキュラムの編成からシラバス公開までの流れ>

① 教育課程編成委員会の設置

教育課程（カリキュラム）の編成においては、各専門分野について知見のある企業、業界団体などが委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保する。

委員会では、業界の人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、今後必要となる知識や技術などを分析し、実践的職業教育に必要な授業科目の開設や授業方法の改善の提案を行い、企業等の要請を十分に生かした教育課程の編成に資する。

② 教育課程の編成から決定までの流れ

1. 本科教員により、教育課程について検討し、改善案を作成する。
2. 「教育課程編成委員会」（年に2回以上開催）において、現行教育課程及び本科からの改善案について、専門的、実践的な見地から検討し、新教育課程に必要な授業科目の開設や授業方法の改善等の提案を行う。
3. 校長、教務部長、教務課長により編成される学内カリキュラム委員会において、2. で提案された内容を含めて総合的に検討し、教育課程を決定する。

③ シラバスの作成

決定した教育課程から、科目ごとに「教育目的」「授業内容」「到達目標」「取得目標資格」「授業計画」「成績評価の方法」等を記載したシラバスを作成する。

④ シラバスの更新・公開

1. 次年度分のシラバスは年度末まで、学科学年ごとに作成する。
2. シラバスはPDF化し、インターネットにて公表する。

<履修認定の方針>

- ・ 各科目の評価は、定期試験、レポート、課題制作物（作品）および授業に取り組む姿勢をもとに、シラバスに記載されている「成績評価の方法」を基準として100点法で評価する。
- ・ 100点法で評価した評価点をもとに、教務内規で規定した基準で5段階法（5～1）の評定を行う。
- ・ 評定が5～2の場合は合格、評定が1の場合は不合格とする。

<成績評価及び成績分布状況の把握>

【学習成績、出席状況の把握】

- ・ 100点法による評価点、5段階法による評定点、総得点（評価点の合計）、平均点（総得点÷科目数）、成績順位、出席時間数、欠席時間数、出席率を記載した成績一覧表を、学科、学年、コースごとに作成し、成績不振および学習意欲が低下している生徒の把握に務める。
- ・ 各科目の5段階法の評定、成績順位、出欠状況等を記載した、成績表を前期期末（10月）並びに後期期末（卒業学年：2月、進級学年：3月）に保護者宛て送付し家庭の理解や協力を求める。

【成績分布状況の把握】

- ・ 5段階法で評価した各科目の評定の平均値（評定平均）を求め、学科・学年・コースごとに成績分布状況表を作成する。

<進級・卒業の認定>

【進級認定基準】

- ・ 年間800時間以上履修しており、かつ履修すべき全科目の評定が合格していること。
- ・ 毎年3月中旬に開催する進級認定会議において進級認定されていること。

【卒業認定基準】

- ・ 2年課程は1,700時間以上、3年課程は2,400時間以上、4年課程は3,600時間以上履修していること、かつ履修すべき全科目の評定が合格していること。
- ・ 毎年2月中旬に開催する卒業認定会議において卒業認定されていること。

<学科構成>

分 野	学 科／コース	修業 年限	入学 定員	総定員
ビジネス分野	総合情報ビジネス科	2年		
	・ビジネスキャリアコース		30名	60名
	・ITビジネスコース		30名	60名
IT・AI分野	モバイルアプリケーション科	2年	30名	60名
	情報システム科	2年	100名	200名
	システムエンジニア科	3年	40名	120名
	ネットワークシステム科	2年	30名	60名
	ネットワークセキュリティ科	3年	30名	90名
	AIテクノロジーエンジニア科	3年	30名	90名
	高度ITエンジニア科	4年	30名	120名
クリエイティブ分野	ゲームクリエイター科	2年		
	・ゲーム企画コース		30名	60名
	・ゲームCGコース		20名	40名
	ゲームエンジニア科	3年	50名	150名
	CGクリエイター科	2年	40名	80名
	Webクリエイター科	2年	20名	40名
	デジタルデザイン科	2年	30名	60名
	デジタルミュージック科	2年	30名	60名
	映像放送科	2年	20名	40名
	音響制作科	2年	20名	40名
建築・工学分野	建築科	2年		
	・建築工学コース		20名	40名
	・CAD設計コース		20名	40名
	建築大工技能科	2年	20名	40名
	インテリア科	2年	20名	40名
	電気工事科	2年	30名	60名
	機械CAD設計科	2年	20名	40名
国際分野	国際ビジネス科	2年		
	・ビジネスコース		60名	120名
	・ITコース		30名	60名
	・教養コース		30名	60名

(7) 実践的職業教育と就職指導

技術に国境はありません。優秀な技術者が活躍するフィールドも、グローバルに広がっています。そうした世界で活躍できる技術者を育成するために、本校ではワールドワイドに知られる企業や教育機関とのパートナーシップを提携。IT 業界が注目するベンダー系資格の取得なども視野に入れた最先端の教育カリキュラムを導入し、世界に通用する即戦力人材の育成をめざしています。

<各種認定・連携教育>

○経済産業省「情報処理技術者試験」午前試験免除認定

基本情報技術者試験については午前試験免除で受験できます。

○経済産業省「第二種電気工事士」養成施設

指定の課程を修了後、卒業時に第二種電気工事士の資格が得られます。

○厚生労働省「舞台機構調整技能士」受験資格校

在学中に実務経験なしで「舞台機構調整技能士」試験を受験できます。

○国土交通大臣指定「一級建築士」指定科目履修学科（実務経験4年）

卒業後、4年の実務実績により一級建築士の受験資格が得られます。

○国土交通大臣指定「二級建築士」指定科目履修学科（実務経験免除）

卒業と同時に、実務経験なしで建築に関する受験資格が得られ、最短20歳での「二級建築士」合格も可能です。

○総務省「第一級陸上特殊無線技士」認定

指定の課程を修了後、修了証を総務省に提出することにより、無試験で「第一級陸上特殊無線技士」免許を取得できます。

○マイクロソフト Imagine Academy プログラム実施校

マイクロソフト Imagine Academy プログラムとは、マイクロソフトの最新鋭テクノロジーに関する質の高い教育を提供するためのプログラムです。このプログラムを受講することにより、学生は単位の取得と同時に、さまざまな最新鋭テクノロジーについての学習を深めることができます。また、マイクロソフト認定資格である、MOS（マイクロソフト オフィス スペシャリスト）・MCP（マイクロソフト認定プロフェッショナル）・MTA（マイクロソフト テクノロジー アソシエイト）を始めとする各種 IT 資格に挑戦し、IT 管理者や開発者になるための準備をすることができます。

○シスコ・ネットワーキングアカデミー・プログラム実施校

シスコシステムズ社は、業界標準ともいえるネットワーク機器の世界的ベンダー。本校は、シスコ・ネットワーキングアカデミー・プログラム実施校として、シスコシステムズ社が提供する先進のネットワーク教育カリキュラムを導入。本プログラムを受講すれば、ネットワーク社会に必要な不可欠ともいえる、同社認定の資格「CCNA（シスコ技術者認定）」の在学中の取得が可能です。世界 165 ヶ国以上、約 90 万人の学生が本アカデミーの実践的技術を学び、さらに上位の資格取得をめざしています。

○オラクル・アカデミー参加校

コンピュータ業界で有名なブランドの 1 つである Oracle 社は、世界中で使用されているデータベースソフト「Oracle データベース」や「Java テクノロジー」などを提供しています。本校では、オラクル・アカデミー参加校として、同社が認定する資格「OracleMaster」（データベース技術者）、「JavaSE 認定資格」（Java 技術者）の取得を目標とした教育プログラムを実施しています。データベースの運用・管理などの技術を修得した Oracle データベース技術者や、Web・ネットワーク基盤の開発に重要な Java 技術者は、IT 業界の注目度も高く、ますますその必要性が高まっています。

○Unreal Engine アカデミックパートナー校

本校は、世界最高峰と言われる 3D ゲーム開発エンジン「UnrealEngine」を開発した EPICGAMES 社からゲーム制作カリキュラムを実施するアカデミックパートナーに認定されています。UnrealEngine は、さまざまなプラットフォームに向けてハイクオリティなゲームが制作できるプロ仕様の総合開発環境です。アイデアを素早く形にし、即座に結果を見ることで、マルチプラットフォームに対応したゲーム開発技術を学べます。

○Unity 教育実施校

Unity は UnityTechnologies 社で開発され、3D、2D を問わずマルチプラットフォームでゲームやインタラクティブコンテンツを制作する人のための最高の開発環境。ハイエンドなコンテンツをビジネスにしたい人、熱心な開発者、多くの熱烈的なプレイヤーなど、すべての人を満足させる先進的かつ効率的なシステムです。いまや世界中のゲーム開発現場で導入されている Unity の、マルチプラットフォームに対応するゲーム開発技術を本校で学習することができます。

○CG-ARTS 協会認定 CG 校

コンピュータグラフィックス（CG）は、映画、ゲーム、アニメ、設計、医療など幅広い分野で活用されています。CG-ARTS 協会は、その CG・画像情報分野のカリキュラムの策定、教材の開発、指導者への支援、そして検定の実施などを行うことにより体系的な知識とスキルを身につけた人材を育成しています。本校は、CG-AR

T S協会より認定CG教育校として平成7年に日本で初めて認定を受け、体系化された実践的なCG教育を行っています。

○SEA/J アカデミープログラム認定校

情報セキュリティは今や IT 業界にとどまらず、さまざまな企業で存在価値が高まっています。情報セキュリティの技術者育成を専門で行うセキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン（通称：SEA/J シージェイ）は、マイクロソフトをはじめとする正会員企業8社により、経験と専門性を兼ね備えた情報セキュリティプロフェッショナル育成のために、IT 業界での人材評価の指標となっている「IT スキル標準」に対応した教育・資格プログラムを提供しています。

○LPI-JAPAN アカデミック認定校

Linux 技術者認定試験（LinuC）は、日本で開発・管理され、日本市場に対応した認定試験。LinuC は、多くの企業において Linux 技術力の判断基準、育成目標とされています。本校は、LPI-Japan アカデミック認定校に加盟し、LinuC の取得を促進しています。LinuC 対応講座では、Linux 技術者のみならずネットワーク技術者にも必須の知識を学習できます。LinuC は Linux の技術力を中立公正に判定する IT 資格です。

○PV 施工技術者認証研修機関

一般社団法人太陽光発電協会は平成29年4月施行の改正FIT法に規定されている「事業計画策定ガイドライン」に沿って、住宅・地上設置での太陽光発電設備の設計・施工及び保守点検に必要な知識・技術が習得されていることを認定するため PV マスター施工技術者制度を創設しました。PV マスター施工技術者資格は、上述した制度の中で住宅・地上設置での太陽光発電設備の設計・施工の技術レベルを認定するものです。認定試験の受験資格として協会が認めた研修等を受講し、認定研修修了試験に合格していることが必要となります。本校は太陽光発電協会の認定を受けた教育機関としては日本で初めての認証研修機関であり、学内での研修終了後受験資格が得られます。

○エネルギーマネジメントアドバイザー アカデミック認定校

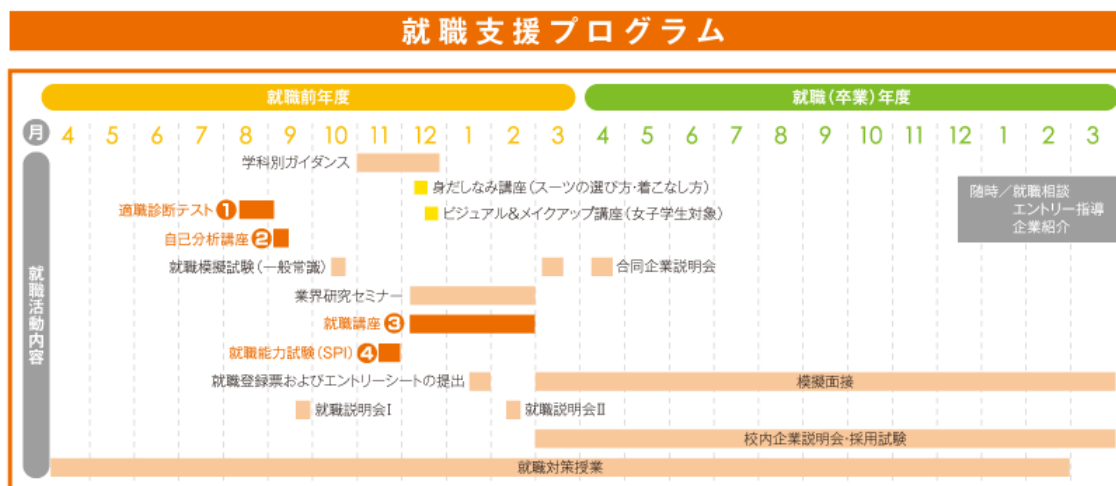
「エネルギーマネジメントアドバイザー認定」は、日本最大の太陽光発電普及の団体である一般社団法人日本PVプランナー協会が推進している認定制度です。これは、私たちの日々の生活における「持続的な省エネルギー社会」の実現を目指し、実践していくために、エネルギー管理のアドバイスを行う人材を育成することを目的としたものです。本校は、この制度のアカデミック認定校となっており、エネルギー管理を通して将来の生活がどのようになり、そのためにはどのような設備が必要かをアドバイスできる知識を総合的に修得することができます。

<就職指導>

就職活動では、これまでの自分を振り返り、現在の自分を理解し、将来の自分を見据える作業が大切です。それを具体化していく作業のために、本校では「就職支援プログラム」を用意しています。

就職活動そのものは各個人によるものですが、多くの学生はほとんど初めて就職活動を行うことで戸惑いも多いのが事実です。本校では就職センタースタッフはもちろん、担任との連携のもと学生個々の希望や長所を最大限に引き出せるよう「就職支援プログラム」を中心に様々な就職支援を展開します。就職活動で大切なことは、なぜその会社に入社したいのか、入社して将来にわたり何を実現したいのかをしっかりと自分の言葉で話せることです。それらを含めて希望する企業の内定を目指して活動を支援します。

<就職支援プログラム>



(8) 教職員

<教職員数>（令和元年5月1日現在）

教員	本務	44人	兼務	66人
職員	本務	46人	兼務	9人

<教員組織・担当科目（専任教員）>

校長 吉田 博志

【第一教務部】

氏名	役職	担当教科
小野寺 忠則	教務部長	建築計画、建築設計製図 他
八巻 吉市	教務課長	放送システム、カメラワーク実習 他
高橋 敬	教務課長	機械工学、3次元CAD実習 他
高桑 博道	教務主任	Webディレクション、Webデザイン 他

駒村 彩乃	教務主任	ゲーム制作、サーバプログラミング 他
内海 信也		デジタルデザイン、DTP デザイン 他
遠藤 航		ゲームプログラミング、ゲームエンジン 他
鈴木 正人		ゲームプログラミング 他
鈴木 祐貴		CG 制作実習、企画構成演習 他
村山 秀樹		デジタルミュージック応用 他
伊藤 功啓		建築設計製図、建築一般構造 他
柏 秀幸		建築計画、建築設計製図 他
酒井 淳		ゲームアルゴリズム、ゲームデザイン
松野 義勝		インテリア概論、インテリアコーディネート 他
横田 広		電気理論、保安法令 他

【第二教務部】

氏 名	役 職	担 当 教 科
種田 裕一	教務部長	システム開発概論、データベース基礎技術 他
星 孝	教務課長	データベース設計、SQL 他
吉澤 毅	教務課長	データベース管理、システム開発 他
坂藤 健	教務主任	メカトロニクス、デジタル回路 他
岩間 信喜	教務主任	Windows システム構築、ルータ構築 他
出羽 正敏	教務主任	日本語、マーケティング
阿部 環		ビジネスマナー、ビジネス実務 他
阿保 隆徳		マイコン制御技術、マイコン制御技術 他
一ノ宮 義夫		サーバ構築、情報セキュリティ 他
伊藤 英司		プログラミング基礎 他
伊藤 克也		ネットワーク技術、情報セキュリティ 他
岩間 宏博		企業実務基礎、ビジネス実務 他
内海 喜勝		オフィスアプリケーション、ワープロ演習 他
遠藤 公基		プログラミング技術、システム開発演習 他
大泉 義光		ハードウェア概論、システム開発概論 他
大津 堅		日本語、ビジネスマナー 他
海鉾 佐知恵		インストラクション実習、ライセンス対策 他
川名 拳也		サーバ構築、人工知能技術 他
川村 理佳		日本語、ビジネス文書 他
小林 香		オフィスアプリケーション 他
坂井 芳孝		ハードウェア概論、DB技術基礎 他
佐藤 一		システム開発概論、データベース演習 他
鈴木 秀和		プログラミング言語、ハードウェア概論 他

高橋	よう子		日本語、ワープロ演習 他
高橋	圭信		ハードウェア概論、プログラミング言語 他
竹村	健司		ルータ構築、プロジェクト管理 他
山崎	徹		スマホアプリ開発、RIA プログラミング 他
渡邊	誠士		簿記会計、IT 基礎 他

(9) 教育環境

<校舎概要>

校舎面積 20,684.75 m² 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上15階地下1階
 実習棟面積 449.40 m² 建物構造 鉄骨造 平屋建

<主な施設・設備の特色>

- 延べ約7,000坪の校舎に、インターネットに接続された実習用マシン1,000台以上を設置しています。
- 次世代コンピュータネットワーク・大容量データ通信に対応した、高速ギガビット光ファイバーを導入し、最新ブロードバンド環境を実現しています。
- 校内にこまなく無線Wi-Fiアクセスポイントを設置。学生は、校内どこからでも快適にインターネットにアクセスできます。
- 学生全員にiPadを配付。毎日録画されている講義をeラーニングとして自宅でも視聴でき、予習復習にも大いに活用されています。

<主な実習設備>

- ・スマホアプリ開発実習室
- ・ゲームCGアプリケーション実習室
- ・Windowsプログラミング実習室
- ・システム開発実習室
- ・ネットワーク実習室
- ・セキュリティ実習室
- ・ビジネスソフト実習室
- ・ゲームCGアプリケーション実習室
- ・ゲーム制作実習室
- ・3DCG実習室
- ・Macデザイン実習室
- ・CG・CAD実習室
- ・デジタル音響・映像スタジオ
- ・デジタル5.1chサウンド実習室
- ・音楽実習室

- ・デジタルミュージック実習室
- ・HDTVノンリニア編集室
- ・デッサン室
- ・製図室
- ・模型制作室
- ・建築技能実習棟
- ・マイコン制御実習室
- ・多目的録音スタジオ
- ・電気工事实習室

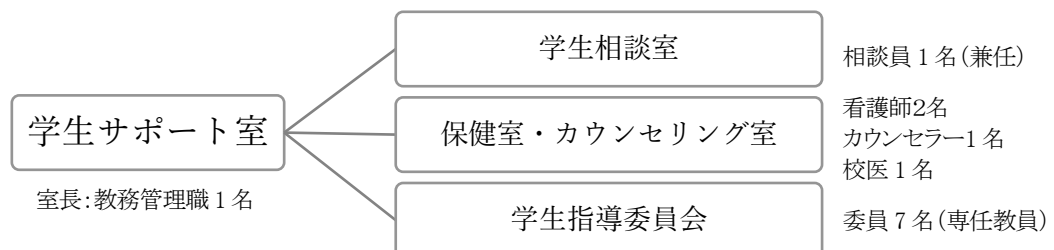
<その他の施設・設備>

- ・視聴覚ホール
- ・メディアセンター
- ・ライセンスサポートセンター
- ・学生ホール
- ・学生食堂
- ・保健室
- ・売店
- ・ATM コーナー
- ・地下駐輪場

(10) 学生の生活支援

<学生支援体制>

はじめて一人暮らしをする人や、日々の健康管理がちょっと心配という人にも、安心・快適なキャンパスライフを過ごしてもらえるよう、本校内には専任の看護師が常駐する「保健室」と、専門のスクールカウンセラーが相談に応じる「カウンセリング室」を設置しています。毎日の学生生活の中で、健康面のサポートはもちろん、誰かに聞いてもらいたいことや悩み相談まで対応しています。明るく清潔な雰囲気の中、看護師とカウンセラーがサポートします。



<学生寮>

○清水沼寮（男子） 定員：62 人

〒983-0845 仙台市宮城野区清水沼三丁目 3 番 31 号

交通：学校まで自転車で 10 分

仙台市営バス「原町 3 丁目」まで徒歩 10 分（学校まで徒歩とバスで 25 分）

部屋：全室個室・洋室 8～11 帖（一部和室 8 帖・10 帖）

設備：机・椅子・ベッド・クローゼット・エアコン・シャワートイレ

食事：朝・夕の 2 食付

○ドミトリー仙台一番町寮（男子） 定員：125 人

〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目 1 番 5 号

交通：学校まで徒歩で 12 分

部屋：全室個室・洋室（A タイプ 9 帖／B タイプ 10 帖／C タイプ 13～15 帖）

設備：机・椅子・ベッド・ユニットバス・クローゼット・エアコン・シャワートイレ

食事：朝・夕の 2 食付

○北山寮（女子） 定員：54 人

〒981-0931 仙台市青葉区北山一丁目 5 番 29 号

交通：JR 仙山線「北山駅」まで徒歩 10 分（学校まで徒歩と電車で 25 分）

市営バス「輪王寺前」まで徒歩 2 分（学校まで徒歩とバスで 25 分）

部屋：全室個室・洋室 9 帖

設備：机・椅子・ベッド・クローゼット・エアコン・シャワートイレ

食事：朝・夕の 2 食付

（1 1）国際連携の状況

本校では、日本語・IT・ビジネススキルに焦点をあてたカリキュラムによって、日本はもちろん、世界のビジネスシーンで活躍できる留学生を育成することで国際連携を目指しています。卒業後は日本での就職、大学進学、また母国に帰ってからも国際人としての活躍が期待できます。

また、在学中は日本人学生との交流会を開催するなど、国際交流にも力を入れています。

<留学生対象学科：国際ビジネス科>

1. 留学生のための学科

留学生向けの学科なので、毎日日本語の授業を設定しています。アルバイトをしながら学習できるように時間割とカリキュラムを工夫しています。

2. 仙台国際日本語学校との連携

留学生に大切な日本語の力が1つ上のレベルになれるよう、東北電子の姉妹校である仙台国際日本語学校と協力しながら留学生をサポートしていきます。

3. 世界で活躍できるビジネスマン

国際的な社会で、インターネットやタブレット端末を自由に使って仕事ができ、必要な情報をあつめ、分析し、活用できる人材を育てていきます。また就職に必要な日本のビジネスマナーも学びます。

<取得を目指す検定試験>

- ・日本語ワープロ検定
- ・情報処理技能検定 表計算
- ・パソコンスピード認定試験 日本語
- ・パソコンスピード認定試験 英文
- ・日本漢字能力検定
- ・日本語学力テスト
- ・日本語 NAT-TEST
- ・日本語学力テスト QUICK
- ・J. TEST 実用日本語検定
- ・PJC (実践日本語コミュニケーション検定)
- ・PJC Bridge (実践日本語コミュニケーション検定・ブリッジ)
- ・サービス接遇検定
- ・実用英語技能検定
- ・秘書検定
- ・ICT プロフィシエンシー検定試験 (P 検)
- ・IT パスポート

(1 2) 教育活動

<学校行事>

4 月	入学式 クラス発表・授業開始 前期オリエンテーション 合同企業説明会
5 月	健康診断 春のレクリエーション (スポーツ大会等)
6 月	防災訓練
7 月	夏休み
9 月	前期期末試験
10 月	後期オリエンテーション

	秋のレクリエーション（いも煮会・スポーツ大会等）
11 月	防災訓練
12 月	冬休み
2 月	卒業生期末試験 卒業制作展・卒業研究発表会
3 月	進級学年後期期末試験会 合同企業説明会 卒業式 春休み

<クラブ活動>

サッカー、野球、バレーボール、テニス、バスケットボール、バドミントン、卓球、
ブラスバンド、デジタルデザイン、映画制作、軽音楽部など